

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	エルムの家を立ち上げた現会長の言葉に基づき理念を作成し、事業所内の目に付くところに掲載している。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念を常に目に付くところに掲げており、名前の裏に印刷しその理念に基づき日々職務に励んでいる。		毎日朝の申し送りなどで唱和することを日課としてゆきたい。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	理念を常に目に付くところに掲げている。入居の際には、重要事項説明書を読み上げ渡しており口頭でも説明している。		理念の中には地域の中で暮らし続けることを大切にしたい言葉が盛り込んでいないため、代表が交代になった時期を見計らい作ってゆきたい。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	入居者様の散歩の途中で声をかけたときなど気軽に話しに応じていただけます。エルム祭が開催されたときなども近隣住民の方が遊びに来てくれます。職員は玄関掃除のときなど近所の方が通りすがりに挨拶しています。		エルム祭の時には気軽に来ていただけるよう声をかけている。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会には寄付を毎年行っており、町内清掃にも入居者、職員共々参加している。地区センターで行っている週1回のダンス教室にも参加している。		エルム祭ではテントを使用し、ゆったり食事をしたり、お祭りを楽しめる空間を作り、利用者さん・ご家族・地域の方との交流の場となる環境作りをしました。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町内清掃に参加。		近隣の病院に利用者さんの作品展示依頼があり参加。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>ホームの運営理念を見やすい所に明示し、入居者さん及びご家族にもわかりやすく説明し、又改善に向けて取り組んでいます。</p>	<p>入居者さんの個性を活かし、今後も生き生きとした生活を営めるようさらに取組んでいきたい。</p>
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>ご家族、入居者さん、地域の包活センターの方とホーム職員、町内会長さんにも参加していただいた意見交換の実施回数が少なかった。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市の主催の管理者会議にすべて出席し、必要に応じアドバイスを受け実施しています。</p>	<p>西区のグループホーム連絡協議会の会議に参加したり、研修会等を通じ市の担当者との連絡を取る機会が多く、ともにサービスの向上に取り組んでいる。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>その都度利用者さんに応じ、管理者や職員は対応し支援している。</p>	<p>研修などあれば参加して行きたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>普段の利用者さんの生活パターン、態度をご家族に理解して頂けるよう声かけ、コミュニケーションを図り、職員は言葉や態度にも気をつけている。</p>	<p>ご家族が意見・苦情を伝えられる意見箱を設置してあります。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居される前にホームを見学して頂き、ケアマネージャー、管理者、ケアワーカーを交えて面談を実施し、本人を理解を得て入居して頂いています。</p>	<p>ご本人、ご家族を尊重し支援に努めるよう努力します。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に第三者窓口のポスターを貼り、ホーム以外の相談窓口の連絡先を表示してある。玄関に意見箱を設置し、ご家族が意見・苦情を伝えやすいような工夫をしている。利用者さん全員とホーム長・職員との話し合いを行なっている。		直接意見等を聞き、理解して頂いている。現在は苦情はありません。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月居室担当者より、ご家族へ手紙を郵送している。その都度ご家族への連絡事項があれば連絡し、面会時に相談・報告をしている。		ご家族に対して様子を随時報告し、安心していただける支援につながっている。面会時にご家族が話しやすい場を作っている。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族に電話連絡時や来所時に近況報告をした際の、意見・不満・苦情に関してはカンファレンス開催時に伝え検討しています。		直接意見等を聞き、理解して頂いている。現在は苦情はありません。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議をもうけ、意見交換をしている。各フロア担当者の意見に偏ることなくそれぞれ意見を出し合い検討しています。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	柔軟な対応が出来るよう、全フロアの勤務調整を行い実施しています。ボランティア参加の調整も行なってる。		事務長を含め、各フロア勤務調整はスムーズに実施出来ています。
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動は少人数として、職員は日頃から他の階の利用者さんと交流を持つよう心がけている為、ダメージが軽減されていると思います。		勤務交代の期間が長くなり、利用者さんも安定している。日頃から行事等でフロア以外の利用者さんとの交流も多い為ダメージが軽減されている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	・研修会や勉強会を受け機会の確保を行なっている。		・今後も職員の意志を尊重し、資格取得に努めている。 ・ホーム独自の教育研修を行い、レベルアップを図っていきたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	・行事参加を行なっている。 ・同区の同業者との交流の機会を持ち、勉強会を行なっている、また職員一丸になりサービスの質を向上させている。		・同業者のお祭りに参加したり、スタッフ向けの学習会があり、参加している。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	・無理がかからない様職員の勤務シフトに配慮している。 ・食事をを行い、職員同士のコミュニケーションの場を作っている。相談に応じている。		管理者に相談しやすくお互いにねぎらいの言葉がけに気をくばっている。
22 向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。			・職員一人一人との話す機会を持ち、理解をしてくれ、話しやすい環境を作っている。 ・職員のレクリエーション・食事会など。
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 初めに築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	初期にあたり、本人が慣れるまで職員が見守り、あらゆる場でコミュニケーションを持つことにより安心感を得ていたあざしている。		入居者さんの背景などを尊重し、出来る限りの配慮と介護に努めている。
24 初めに築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族が来所された時に食事をしていただいたり、ご家族の不安や求めている事をよく理解し、アドバイスまたは受け止める努力をしている。		訪問時には気軽に自由に時間を問わず過ごして頂いている、また宿泊も可能である。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ホーム長・事務長・ケアマネージャーを含めた臨時カンファレンスの開催。また、ホーム長を利用者さん全員参加して頂き話し合いの場を設け協力を得る等フロア全体でご本人に対して支援している。		利用者さんを中心としたニーズで考えていますが、まず、ご家族の精神安定を第一に解決しなくてはならないケースも多々あり対応しています。
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	・ホーム長・職員・利用者さん全員参加の話し合いの場を設け、馴染みながらのサービス提供を実施しやすい環境を作る。 ・ご家族に対して近況報告をしているので理解を得られている。		・ビデオで撮影した物を観て頂いたり居室やりビングでの日常生活をゆったりとした雰囲気でご過ごして頂ける様、サービス提供する。 ・家族的雰囲気となる様、スタッフ・利用者さんの協力のもと実施出来ている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	・さりげない介護を行なう事で本人のプライド誇りを傷つけないように忍耐強く働きかける。 ・本人が思っている「現実」に合わせた支援をする姿勢があるので支えあう関係は築いている。		・本人がしたい事・望む事を時間をかけ話し合い対応する。 ・本人に対応して心地よいコミュニケーションが取れるように心がけている。
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	上記を基本に考え、その都度家族に連絡を取り確認しながらの対応をしているのでよい関係を築いている。		・ご家族の意見、考え方を重点に置いた介護支援をしている。 ・ご家族のつらい心情を考えなければならないのでその旨受け入れる。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	・野菜作りを通じて本人のプランタンの水やり・手入れ等に係って頂き、その時々を楽しんでもらっている。 ・家族間のトラブル相談を受け解決に努めている。 ・作品を本人と作り、家族にプレゼントしている。		ご家族間の窓口となり、利用者さんの支援に対してご家族間で意見の食い違い等のトラブルが生じた時、仲介に入りより良い家族関係となる様に心がけ実施している。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。			・山菜取りに出かけた。 ・電話は自由にかけるようにしている。 ・再会時、ティータイム・食事を一緒にとれるようにしている。 ・ご家族の宿泊ができるようにしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・毎日の生活の中で信頼関係を得られる場面作りに取り組んでいる。 ・人間関係作りに対して意図ある対応をする様努力している。		レクリエーションや行事、同じ趣味をふまえ、関係作りに努力している。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	・年賀状・法要の時はお花を届けている。 ・退所後もエルム祭への参加のお誘いをしている。		今後も続けていきたい。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・一人一人の個性を活かし、思いや希望にそうよう、家族的な雰囲気が出る様努め、買い物や習い事も希望に副い、職員同行のうえ実施している。		今後もより一層ひとりひとりを尊重し、左記を実践してゆきたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	可能な方は近くのスーパーや馴染み暮らしを継続する為、一人で買い物をしている方もいる。また、他利用者さまは職員同行のうえ、希望に副う様外出等に努めている。		平等に利用者さまの希望に副えるよう今後も同様、暮らしを楽しめる様取組んでゆく。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	車椅子生活の方、歩行の困難な方、一人で外出困難な方、一人ひとりに合った1日の過ごし方を把握している。		楽しみの一つとして、近くの病院より依頼があり、作品展示・出品している。今後も続けて行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族と面会した際、現状をお話し、利用者さまの背景等を尊重し暮らしやすいケアに付いて介護支援専門員・職員が一丸となり、よりよい支援が出来る様取組んでいる。		100%とは言えないがほぼ取組んで出来た計画は達成している。今後もさらによりよい介護支援に努めてゆきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	・ご家族に介護計画の意味を説明し、何か変化があった時はすぐに連絡を取り、介護計画の見直しを理解していただいている。 ・カンファレンスを行い職員同士の意見の交換の中で本人が望む計画を作成している。		毎月のケース会議や日常業務の中で介護支援専門員の管理のもとで作成したものをご家族の承諾を得て見直しが出来ている。
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	1ヶ月ごとにケアプランのサービス内容の結果を作成し、担当者は本人の意見を求めカンファレンス時活発に意見交換を行なっている。会議の記録もあるので確実に実施している。		毎朝全ユニットで申し送りを行い、ホーム長職員の意見をもとに送りノートに記録情報を共有し実施に活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。			ご家族または本人の希望により通夜葬儀終末期の入院。ご家族と入居者様食事会。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察へ協力依頼し、消防署とは防災訓練を通じてつながりが出来ている。近くの薬局衣料品店、町内の方も何かあった時には連絡してくれる方もおり、協力をお願いしている。		・地区センターとの交流が深まり社交ダンスサークルに参加している。 ・研修会に積極的に参加している。
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ご家族からの許可を得て支援している。		・デイサービス(太田病院) ・ダンスサークル(西区地区センター) ・折り紙サークル(生協での開催)
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	内科医はじめ各医療機関と連携を取り何かあった時はご家族に連絡を取り、本人・ご家族とも満足していただける医療を受けられる支援を行なっている。		定期的な健診を行い、健康状態の管理を支援して行きたい。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	各医師に認知症を理解していただき、診断治療はスムーズに出来ている。		薬剤師より薬の服用の仕方、依存等の勉強会を行い、理解を深めている。
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員を配置している。		利用者様の健康状態を把握しています。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	・入院時、病院関係者と情報交換や相談を行い状態を把握できている。 ・職員が、利用者さんが安心して過ごせるよう面会に行っている。		医療機関、医師、看護師に相談しやすい体制が出来ている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	本人と普段の会話の中で本心等をさりげなく話し、またご家族や医師とも相談する機会を設けて、今後の方針を全員で共有しています。		大切なことなので本音で話し合いが出来るよう努めている。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	・ご家族または身寄りのない利用者様に対しては特に安心して頂ける様チームでの対応強化をし取組み安心していただいている。 ・チーム内で出来る事・出来ない事を相談し、見極め、意見交換し、確認し合っている。		本人・ご家族の希望により当ホーム内での葬儀も実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居室へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。			本人よりホーム長へ連絡があり(当ホームに遊びに来たいと依頼あり)本人の好きな食べ物を職員が用意、またホームでの生活中の写真を持参し面会に行き、ホームに来所する日程を決定して来た。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	スタッフ一人一人が利用者様のプライバシーや個人情報の重要性を理解し、謙虚な対応を心がけています。		スタッフ一人一人が日々言葉づかいや表情に気を付け、利用者さんの前ではイニシャル対応したり、居室にて個別に対応する事で不快感をあたえないよう個人情報の取扱いには充分配慮している。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	忍耐強く働きかけ見守っている。何かわからない事があればそれに対応した支援を行ない、自分で決定や納得した暮らしができるような環境作りを行なっている。		ゆっくりとお話する場を設け、その方に合った声かけを行い、自己決定の増えるように心掛けている。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の気持ちを尊重し、見守り・働きかけを行い、本人のペースを大切に、出来るだけ希望にそった支援を行なっている。		利用者様の考えや意欲を大切にペースも合わせる様、食事時間・食べたい物・行きたい場所・レクリエーションの支援が出来るよう取組んでいる。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	・なじみの理美容院の利用を支援しており、それぞれにおしゃれをされ自分の好きな髪形をされている。 ・みなさんがいづれも清潔で服装やアクセサリー等その人らしいおしゃれを楽しんでおられます。		・なじみの理美容院の利用の支援 ・ウェディングドレスを着ての記念撮影
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	・慢性疾患を持つ入所者さんでもいらっしゃるので兼区状態に合わせおいしそうに見える盛り付けの工夫、食べたい食材の提供を行なっている。 ・一緒に準備・片付けを行い楽しさの提供を行っている。		・入居者さんの意見を取り入れメニューを立てている。 ・食材の注文も入居者さんと一緒に決めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	毎日の献立と一緒に考えていただく。また、一緒に買い物へ行き、食材を選んでいただく。つぎに2回ほどお酒を夕食後に出し楽しんでいただく。		ティータイムや食事の時間には色々な話題を提供し会話を楽しんでいただく。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々のリズムの合わせた声掛け、誘導を行なっている。夜間はできるだけ起こさないように配慮し対応している。		尿とりパッドの種類等を工夫している。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	シャワーバス設置。利用者様に合わせシャワーチェアも利用。希望に合わせて日中夜間共に入浴可能。		回数や時間にも柔軟に対応。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	リビングにベッドやソファを用意している。清潔な家具を用意。週に1回程度洗濯。		休息し落ち着ける空間の提供。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	カラオケや散歩、ショッピングやダンススクール。洗濯・食器洗い・配膳等一般的な家事。好みのビデオや音楽を楽しんでいる。		職員も利用者さん好みに応じた番組をビデオに録画し楽しんでいただける様提供する。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様が自分でおこづかいの管理又は買い物の支援。ホームではご家族から預かっているお金を手渡ししている。		希望に応じて買い物に出かける。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	その日に利用者様が自己決定した事を支援するように心掛けている。		買いたいものに応じて付き添いや車を用意したり対応しています。外食やティータイムにレストランへ外出しています。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	全職員・利用者様とて話し合いの場を作り、それぞれの希望を聞き、家族の協力のもと、外出の場を作っています。		山菜取り、ドライブ、花見、大型ショッピングセンターへの外出も実施したいです。
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話は自由にかけただけできるようになっています。手紙も住所等聞かれた際はその都度対応しています。		ご家族や知人への連絡はプライバシーを保護し、子機にて対応し、居室にて使用できます。
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族の訪問の際には明るくお迎えし、お茶を出している。		ご家族の方の訪問や宿泊時には食事を一緒に食べていただいています。
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	契約書に記載しており、実際に拘束は行なっていません。		拘束をしないよう職員同士で話し合い理解しており実施しています。
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	今現在 17:00～7:00 施錠 7:00～17:00 開放		職員は利用者様の情報を把握しており連携を取り安全に努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	常に見守りを行い様子を注意している。		さりげない動きの中で安全に配慮しています。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	洗剤等は目の届かないところに保管。包丁・はさみ等は使用し終わったら目の届かない場所に保管。明確に取決め実行しています。		保管場所は目隠しになる様とびらや引き出しの中にしています。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事態が発生した際は、上司にすぐ連絡、対応し、事故報告にまとめてサービス改善に努めています。職員がすぐ行動できる様マニュアルがあります。		発生防止のための取組みを話し合い、今後に活かせる意義付けをしています。
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	職員は救急救命の講習を受けています。		定期的に講習を実施。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練の実施。町内会、運営推進会議の場で協力を求めています。		消防署の指導のもと、避難訓練を実施。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	・入居者様個々の身体能力に合わせた日常動作の中で日々考え対応しています。 ・予知できないリスクに対して話し合いの場を設けて対応しています。 ・常に家族との話し合いの場を設け理解をしていただいています。		規制することなく見守り重視に努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤時、午前3時に他階の職員間で利用者様や職員の現状の連絡を取り、協力し合っている。 ・起床時、二人対応で移乗対応の協力をしている。
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・温度板に個々に薬表を付け、変更時のチェックをスムーズに出来るように配慮し、特に居室担当者は再度チェックをし連絡帳への記録や職員全員が把握するように心掛けている。
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		<p>ホットパックや腹部・肛門マッサージ・体操・野菜中心の食事作りを心がけ、医師に相談し薬の変更や助言を頂き改善されてきている。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・変化のある時は早々に歯科往診を受ける。 ・日々の口腔ケアに関しては声掛け、一部介助、全介助にて見守り対応している。
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・個人個人に応じて美味しく摂取出来るよう対応(トロミ使用・粥食・キザミ食等) ・量についても持病により対応している。 ・水分、食事も確認出来るよう記録している。
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫、台所廻りはアルコール消毒・ブリーチ対応。 ・床、手摺り、トイレ等はブリーチ水で除菌・消毒を実施。 ・口腔ケア、身体介護時、個々にグローブを使用し対応。 ・食事作り時、手指消毒・洗浄は徹底しているがエプロンの考慮が必要。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・台所廻り、調理用具等のアルコール消毒。 ・キッチンハイター、グローブ使用で対応。 ・食材も常に新鮮なものを使用。 ・食材の管理、保存、使用は期限切れになる前に調理している。 		1日3食の調理した食物を毎日検食とし2週間は保管している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出入口の玄関を開放している。 ・花壇に季節折々の花を咲かせている。 ・玄関や各階の出入口には、観葉植物や生花を置いている。 ・空きスペースを利用し野菜作り。 ・玄関廻りや建物の環境整備は危険性の無いよう配慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・玄関は日中開放し、夜間は手で施錠している。 ・冬場の玄関のスロープや階段の除雪は転倒や危険性の無いよう随時行なっている。
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四季を通じリビングや廊下の壁に行事や何気ない光景などの写真を飾り、利用者様やご家族に見て楽しんで頂いている。 ・食事の時にはテレビを消し、ゆっくりと食事がとれるよう音楽をかけたり、その他は利用者様が好む曲や聴きたい曲をかけ和んで頂いている。 ・リビングや食事に季節感ある生花を生けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・食堂を明るく、ゆったりとした空間がある。 ・一緒に生活している猫や犬の存在が利用者様にとって癒しになっている。
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食卓で自由に過ごすことが出来、気の合った利用者様同士で会話や好きな曲などを聴き、ゆったりと過ごされている。</p>		<p>椅子やテーブルの設置は限られた所ではあるが一人一人が居心地良くゆったりと過ごせる共用空間作りを心がけていきたい。</p>
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みの布団、ベッド、タンスなど居室に配慮して頂いている(仏壇) ・心地よく過ごせるよう配慮している。 		<p>家庭的な雰囲気作りに努めている。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に窓を開け、空気の入換え、換気扇を作動し乾燥している際はぬれタオル等で対応。 ・動物の排泄物やトイレの汚物や汚れ等も定期的に確認し除去、消毒等の対応。 		<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備が整っている。 ・風通しの良い環境づくりに心掛けている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		<p>利用者様の状態に応じて危険性の無いよう居室の環境整備は配慮している。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		<p>出来ること出来ない事への配慮やわかる事わからない事また混乱となっても安心出来るよう個人個人に対して声掛け見守りをしている。</p>
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		<p>四季を通じベランダで出来る野菜作りや土いじりに取組んで行きたい。</p>

サービスの実績に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input checked="" type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

利用者様やご家族の方の希望をお聞きし、副えるよう職員一同心がけています。
 利用者様一人一人に合った運動や散歩、買い物やドライブ等健康状態を見て実行しています。
 食事は新鮮な食材を使い工夫し、お手伝いのできる利用者様と一緒に楽しく作っています。
 介護士のコミュニケーションをはかる。